



卒業・修了おめでとうございます！！

～1年間のご支援に感謝いたします～

明日3月24日（金）をもちまして、本校の1年間の教育活動が修了いたします。思い起こしますと、令和4年度も、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年間となりました。しかし、そのような中でも、子どもたちの成長を支え、背中を押すべく、本校の教育の重点目標「自己有用感を高め、夢をかなえる力を育む学校」の実現に向け、教職員一同、一丸となって取り組んでまいりました。

子どもたちは、それぞれの学年で精一杯努力し、確かな学力とともに健やかな体、そして豊かな心を身に付け、これからの時代を生き抜く力を着実に伸ばしてきたと感じています。

そのような教育活動の中、小学校6か年の課程を修了し、本校を巣立つ5名の卒業生のみなさんのご卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、在校生のみなさんの修了をお喜び申し上げます。5名の卒業生のみなさんは、一人一人の個性を認め合い、生かし合いながら、最上級生として日々率先して行動し、後輩の手本となっていました。おかげで、広野小学校は、「仲間を認め合うこと」、「あいさつを大切にすること」の2点において、大いに伸びた1年間となりました。

保護者の皆様や地域の皆様、今年度も本校の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。コロナ禍においても、「地域全体で子どもを育てる」という八広地域のすばらしい風土のもと、子どもたちに対して数えきれないほどのご支援を賜りますとともに、温かく子どもたちを育てていただきましたことに、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

次年度も、一層のご理解とご支援をお願いいたします。



次につなげる春休みに



明後日から約2週間の春休みに入ります。今年度、長い休みに入る前には、いつもお話ししてきた『3つの守る』。春休みも、以下3つの守るについて意識してほしいと思います。

1つ目は、『命を守る』こと

良いことか悪いことかを自分で判断して行動することや危ないところなどに近寄らないこと、日頃からマスクの着脱を判断し、手洗いうがいをこまめに行うことなどを意識して、自分や家族、仲間の命を守ってください。

2つ目は、『きまりを守る』こと

交通ルールをしっかりと守ること、また、出かける時には保護者の方に行き先や帰宅時刻を伝えることを徹底し、きまりをしっかりと守ってください。

3つ目は、『生活リズムを守る』こと

4月からは入学や進級が控えています。まず、必要なのは元気です。そのためにも、体調管理がとても大切になります。普段、学校がある時と同じように、早寝、早起きを心がけるとともに、三度の食事をしっかりとるようにしてください。

加えて春休みには、今までの学習の振り返りを行い、わからないところやできなかったところがないか点検しましょう。もし、あった時には、休み中に復習し終わらせておきましょう。



お世話になりました

このたび、4名の職員が市内、他町村、他管の学校へ異動することになりました。4名の職員に対しまして、長きにわたりご理解、ご支援を賜りましたことに、改めて感謝いたします。

新川 和範 校長



今朝も、濃い霧に包まれたポロシリの朝を迎えました。時間の経過とともに現れたポロシリ岳の神々しさに、春の訪れを感じると同時に、校長住宅に生活の拠点を置いた日々がもう終わりになってしまうと思うと、大変さみしく、名残惜しい気持ちいっぱいになりました。

広野小学校では、澄んだ瞳、真っ直ぐな瞳を輝かせた子どもたちとのかけがえない3年間を過ごさせていただきました。また PTA の皆様には、学校の現状を理解し、全力でサポートしていただきました。地域の皆様とは、様々な状況を受け入れていただきながら、交流させていただきました。ただただ、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、八広地域で学んだ知識と経験を糧に、日々、精進してまいりたいと考えております。皆様方におかれましては、今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。3年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

宮村 皇史 教諭



大学まで札幌で過ごしてきたわたしは、ずっと小さな学校にあこがれていました。なぜなら、子ども・保護者・地域が一体となった学校をイメージしていたからです。広野小学校は、そんなわたしのあこがれを現実のものにしてくれました。

明るく元気、素直で思いやりのある子どもたち。その土台にあるのは、協力的な八広地域・保護者のみなさんの力でした。笛舞交流やリンク造成、生涯学習やそば打ちなどのサポートには、驚きを超えて感動さえ覚えたものです。ポロシリ岳を目にしながらか心を癒してもらい、楽しい思い出をたくさんいただきました。

6年間、大変お世話になりました。八広地域で学んだことを次の学校でも生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

村上 和佳 養護教諭



ちょうどコロナとともに広野に赴任しました。来てすぐに、一斉休校があり、子どもたちと過ごせず、歯がゆく思ったことがつい最近のようです。子どもたちと農園の野菜を育てたり、児童会の委員会活動、クラブ活動、朝の玄関でのやりとりをしたりしたことがとても楽しく、たくさん笑わせていただきました。また、「ほけんだよりのイラストを書きたい！」と言い、書いてくれたのはこの学校が初めてです。

3年間という短い間しか過ごせず、もっと子どもたちの成長を見守り、一緒に成長していきたかったと思います。

保護者や地域の皆様に支えられて、過ごすことができました。次の勤務地では、広野の経験を生かして、自分なりに頑張っていきたいと思っています。

どうもありがとうございました。そして、お世話になりました。

能登 基宏 事務職員



平成 29 年 4 月に赴任し、早いもので6年が経ちました。

仕事の関係上、子どもたちと関わる機会は少ないですが、その中でも会った時に名前を呼ばれることや、あいさつ等はとても元気をいただいていた。

学校事務職員の仕事のひとつとして、教育環境の整備があります。6年間を振り返ってみても、大規模校より小規模校の方が子どもたちや保護者・地域の皆様との距離が近いと感じることができました。

この度の人事異動で次の学校へ異動となりますが、次の勤務地でも八広地域・広野小学校で学んだ経験を生かしていきたいと思っています。

6年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。